



## 平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 株式会社 ビューティ花壇

上場取引所 東

コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三島美佐夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 須浪薫

TEL 03-5776-5850

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	992	10.0	26	—	27	—	8	—
22年6月期第1四半期	902	2.3	△26	—	△22	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年6月期第1四半期	404.77	400.22
22年6月期第1四半期	△1,403.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年6月期第1四半期	1,310	440	30.0	18,259.48
22年6月期	1,504	487	29.6	20,122.42

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 392百万円 22年6月期 444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年6月期	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00
23年6月期	—	—	—	—	—
23年6月期(予想)	—	0.00	—	1,628.00	1,628.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	2,100	7.5	80	38.6	80	27.2	30	100.2	1,356.97
通期	4,300	6.9	240	18.1	240	14.7	120	25.8	5,427.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年6月期1Q 25,380株 22年6月期 25,108株

② 期末自己株式数 23年6月期1Q 3,876株 22年6月期 3,000株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年6月期1Q 21,927株 22年6月期1Q 24,635株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する項目については、添付資料の3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復に伴い輸出企業を中心に緩やかに景気は持ち直し、欧州での財政危機など今後の回復への不安材料はあるものの、最悪期は脱し回復の基調が見られます。一方で雇用環境の厳しさや所得環境が大幅な改善にまで至らなかったことから、個人消費は引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループの事業を取り巻く環境としましては、ブライダル需要は横ばい、件数が増えているフェーネラル需要も単価が下落傾向であるため、花の需要はトータルで横ばいに留まっているものと思われま

す。当社グループは、このような状況の中、今年度を中期経営計画の最終年度として目標達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。当社グループの基本方針として、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上アップ、徹底的な経費削減を引き続き推進してまいりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、生花卸売事業、生花祭壇事業ともに堅調に推移し、992,589千円（前年同期比10.0%増）となりました。売上総利益については、211,018千円（前年同期比15.7%増）となりました。販売費及び一般管理費については、人件費や支払手数料を抑え184,269千円（前年同期比11.8%減）となりました。その結果、営業利益は26,749千円（前年同期は26,404千円の損失）となりました。また、経常利益は27,070千円（前年同期は22,836千円の損失）、四半期純利益は8,875千円（前年同期は34,566千円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、750,141千円（前年同期比6.6%増）となりました。当事業が主として属する葬祭業界におきましては、消費者の支出は景気動向の影響は直接的には受けにくいといわれておりますが、経済産業省「特定サービス産業動態統計速報」（サンプル調査）によると、葬儀業の平成22年7月から平成22年8月までの売上高は80,181百万円（前年同期比2.7%増）、件数は54,501件（前年同期比6.9%増）となっております。このような状況のもと、前述の全社基本方針の徹底により、当社の当第1四半期連結会計期間における国内の生花祭壇の受注件数は、前年より169件増えて4,081件となりました。営業利益については96,279千円（前年同期比12.2%増）となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、196,639千円（前年同期比22.0%増）となりました。当事業の主要顧客が属する生花小売業界におきましては、7月以降の猛暑による全国的な異常気象の影響から市場での取り扱い数量は例年より少なく、期間を通して高値で推移いたしました。このような状況のもと、当社は、直接仕入れを行っている取引先との交渉による仕入本数の確保、厳しい価格交渉を行うとともに、花卉市場への積極的な卸売りを推進いたしました。当社の当第1四半期連結会計期間の切り花取扱数量は前年同期比で5.7%減、金額では前年同期比24.7%増となっております。また、前述の全社基本方針の徹底による一般生花店への販売により、営業利益は52,738千円（前年同期比165.0%増）となりました。

#### (その他)

その他事業は、ブライダル事業及びプランツスケープ事業からなり、売上高は45,808千円（前年同期比20.9%増）となりました。営業損失は6,276千円（前年同期は9,157千円の損失）となりました。連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいて、生花仕様の見直し、生花仕入れルートが多様化等による仕入原価の低減等により、収益の改善がみられました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ194,060千円減少し、1,310,241千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ193,792千円減少し、749,000千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ147,444千円減少し、869,370千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ107,089千円減少し、601,277千円となりました。これは主に、短期借入金及び未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ40,354千円減少し、268,092千円となりました。これは主に、社債及び長期借入金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ46,615千円減少し、440,870千円となりました。これは主に、剰余金の配当による利益剰余金の減少及び自己株式の取得による減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ216,565千円減少し、242,382千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、営業活動の結果使用した資金は3,052千円（前年同期は645千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益26,272千円の計上と非資金費用である減価償却費12,155千円、賞与引当金19,687千円の計上の一方で、売上債権が23,435千円増加したことと法人税等の支払額50,445千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は15,863千円（前年同期は8,733千円の使用）となりました。これは主に、保険積立金の積立による支出17,459千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は192,952千円（前年同期は138,289千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減77,565千円と長期借入金の返済による支出35,199千円と自己株式の取得による支出32,166千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績は、概ね予定通りに推移していることから、平成22年8月10日発表の「平成22年6月期決算短信」に記載の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が525千円減少し、税金等調整前四半期純利益が2,872千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「差入保証金」が2,872千円減少しております。

3 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	242,382	458,947
受取手形及び売掛金	408,522	387,147
商品	7,114	6,318
仕掛品	274	463
原材料及び貯蔵品	12,074	14,314
その他	81,963	78,762
貸倒引当金	△3,332	△3,160
流動資産合計	749,000	942,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	121,783	121,908
減価償却累計額	△56,627	△54,627
建物及び構築物（純額）	65,155	67,280
工具、器具及び備品	170,953	171,963
減価償却累計額	△104,382	△100,145
工具、器具及び備品（純額）	66,570	71,818
土地	122,842	122,842
その他	4,403	6,061
減価償却累計額	△3,525	△5,028
その他（純額）	877	1,032
有形固定資産合計	255,446	262,973
無形固定資産	25,984	31,003
投資その他の資産		
差入保証金	137,062	140,906
その他	161,107	144,810
貸倒引当金	△18,360	△18,185
投資その他の資産合計	279,809	267,532
固定資産合計	561,241	561,508
資産合計	1,310,241	1,504,301

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,316	82,626
短期借入金	155,800	231,700
未払法人税等	18,027	54,398
賞与引当金	19,687	—
その他	329,446	339,642
流動負債合計	601,277	708,367
固定負債		
社債	45,000	65,000
長期借入金	183,500	202,000
退職給付引当金	11,820	11,634
その他	27,772	29,813
固定負債合計	268,092	308,447
負債合計	869,370	1,016,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	211,880
資本剰余金	133,240	131,880
利益剰余金	192,135	212,000
自己株式	△136,854	△104,687
株主資本合計	401,761	451,072
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△9,109	△6,206
評価・換算差額等合計	△9,109	△6,206
少数株主持分	48,218	42,619
純資産合計	440,870	487,486
負債純資産合計	1,310,241	1,504,301

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	902,511	992,589
売上原価	720,111	781,570
売上総利益	182,400	211,018
販売費及び一般管理費	208,804	184,269
営業利益又は営業損失(△)	△26,404	26,749
営業外収益		
受取利息	432	141
受取地代家賃	2,759	2,733
助成金収入	1,380	1,530
その他	2,053	747
営業外収益合計	6,625	5,152
営業外費用		
支払利息	1,504	2,735
不動産賃貸費用	1,280	1,285
その他	272	810
営業外費用合計	3,057	4,831
経常利益又は経常損失(△)	△22,836	27,070
特別利益		
固定資産売却益	—	1,561
特別利益合計	—	1,561
特別損失		
過年度損益修正損	15,558	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,347
その他	352	11
特別損失合計	15,911	2,359
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,747	26,272
法人税、住民税及び事業税	715	17,058
法人税等調整額	△7,387	△8,163
法人税等合計	△6,671	8,895
少数株主損益調整前四半期純利益	—	17,377
少数株主利益	2,490	8,501
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,566	8,875

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,747	26,272
減価償却費	13,972	12,155
差入保証金償却額	—	525
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,347
長期前払費用償却額	1,021	2,476
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,003	371
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,466	19,687
退職給付引当金の増減額(△は減少)	740	186
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△164	—
受取利息	△432	△141
受取賃貸料	△2,759	△2,733
助成金収入	△1,380	△1,530
支払利息	1,504	2,735
不動産賃貸費用	1,280	1,285
固定資産除売却損益(△は益)	—	△1,549
売上債権の増減額(△は増加)	△13,847	△23,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,586	1,633
その他の資産の増減額(△は増加)	△42	3,891
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△457	△1,419
仕入債務の増減額(△は減少)	9,553	△3,659
その他の負債の増減額(△は減少)	5,010	6,828
その他	222	298
小計	△1,643	46,225
利息の受取額	730	141
賃貸料の受取額	1,859	1,828
助成金の受取額	1,380	1,530
利息の支払額	△1,583	△2,333
法人税等の支払額	△1,389	△50,445
営業活動によるキャッシュ・フロー	△645	△3,052
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△220	△1,620
貸付金の回収による収入	1,298	1,083
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,247	△883
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	2,022
差入保証金の差入による支出	△4,506	△4,256
差入保証金の回収による収入	1,943	5,250
保険積立金の積立による支出	—	△17,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,733	△15,863

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	372,241	50,000
短期借入金の返済による支出	△430,000	△127,565
長期借入金の返済による支出	△18,920	△35,199
社債の償還による支出	△50,000	△20,000
株式の発行による収入	540	2,720
自己株式の取得による支出	—	△32,166
配当金の支払額	△8,487	△28,740
その他	△3,663	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,289	△192,952
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△147,290	△216,565
現金及び現金同等物の期首残高	228,784	458,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,493	242,382

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	703,386	161,234	37,890	902,511	—	902,511
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	202,292	8,241	210,533	(210,533)	—
計	703,386	363,526	46,131	1,113,044	(210,533)	902,511
営業利益又は営業損失(△)	85,797	19,898	△9,157	96,538	(122,943)	△26,404

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 生花祭壇事業……生花祭壇、供花
- (2) 生花卸売事業……菊、胡蝶蘭などの生花
- (3) その他 ……ブライダル、ギフトなどの祝事に関する生花、園芸装飾等の緑化事業商品

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	867,337	35,173	902,511	—	902,511
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	21,153	21,153	(21,153)	—
計	867,337	56,327	923,665	(21,153)	902,511
営業利益又は営業損失(△)	81,850	14,101	95,952	(122,357)	△26,404

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…… 台湾

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、冠婚葬祭の生花に係わる事業活動を展開しております。その中で、「生花祭壇事業」及び「生花卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

生花祭壇事業：生花祭壇、供花等、葬儀における生花を使用した商品を作成して販売する事業

生花卸売事業：自社の祭壇事業で使用する生花の仕入及び葬儀関連会社の生花部や生花小売店に対して、生花を販売する事業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇事業	生花卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	750,141	196,639	946,781	45,808	992,589	—	992,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	222,801	222,801	2,231	225,032	△225,032	—
計	750,141	419,441	1,169,583	48,039	1,217,622	△225,032	992,589
セグメント利益又は損失(△)	96,279	52,738	149,017	△6,276	142,741	△115,992	26,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブライダル事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△115,992千円には、セグメント間取引消去△307千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115,684千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。